



ある場所に固定されて動かない「建築」という表現の伝達は、写真や映像といったメディアにも大きく依存します。場所や時間、状況と深く関わりながら生み出される建築や都市が、それらと切り離され「写真」に変換されるその瞬間に、一体何が起きているのか。建築表現の本質に関わり続けるこの問題について、「写真家」「建築写真家」「建築家」の3つの視点から検証します
(アーキテクト・ガーデン 2014 関連企画)

<04.09.12> (c)Takano Ryudai
Courtesy of Yumiko Chiba Associates,
Zeit-Foto Salon

鷹野隆大 小川重雄 山本想太郎

写真と建築

日本建築家協会 (JIA) 関東甲信越支部デザイン部会主催 公開シンポジウム

日時 2014年6月24日(火) 18:30~21:00 (20:30より懇親会)
会場 JIA館1F 建築家クラブ (東京都渋谷区神宮前2-3-18)
参加費 一般1000円、学生500円 (懇親会飲物代を含む)
参加申込 事前申込制 (先着順60名) <http://atyam.net/jia.html>

※公開シンポジウムですのでどなたでもご参加いただけます
※継続職能研修 (CPD) プログラム申請中 協力 ユミコチバアソシエイツ

鷹野隆大 (たかのりゅうだい)
写真家 / 1963年福井県生まれ / 2006年にセクシュアリティをテーマにした写真集「IN MY ROOM」で第31回木村伊兵衛写真賞を受賞 / 2011年には日本の都市景観を日常性の中で捉えた写真集「カスババ」を発表 / 性や都市といった身近な事柄に内在するシステムを探る作品を発表している

小川重雄 (おかわしげお)
建築写真家 / 日本大学芸術学部写真学科非常勤講師 / 法政大学デザイン工学部建築学科研究科兼任講師 / 1958年東京生まれ / 1986年株式会社新建築入社 / 1991年~2008年新建築写真部長 / 2008年に独立、小川重雄写真事務所設立 / 世界各地の現代建築、古建築を撮影し続ける

山本想太郎 (やまもとそうたろう)
建築家 / 日本建築家協会デザイン部会長 / 東洋大学非常勤講師 / 明治大学兼任講師 / 工学院大学非常勤講師 / 1966年東京生まれ / 1991~2003年坂倉建築研究所勤務 / 2004年より山本想太郎設計アトリエ主宰 / 現代建築から社寺、アートまで多様な設計・制作活動を行う



<工学院大学弓道場> (c)Shigeo Ogawa